

## 優秀賞

# 奈良県香芝市立二上小学校 「令和元年度 運動会」

### 学校紹介

本校は、本年（2019年）で創立131年を迎える歴史と伝統のある小学校である。万葉の昔から「ふたかみやま」と親しまれてきた二上山が眼前にそびえ、校区内には地元の古い町並みも残っている。また、古くから地域に支えられた学校という伝統は今も変わらず受け継がれている。

### 取組概要等

#### 【取組概要】

本校では運動会でオリンピック・パラリンピックの要素を取り入れた2つのプログラムを実施した。①シッティング玉入れは、玉入れを、前半では座った状態で、後半では立った状態で行うというもの。②FUTAKAMI オリンピック 2019は、障がい物競走の一つの要素として模擬聖火リレーゾーンを設けたものである。

#### 【取組のねらい】

児童にオリンピック・パラリンピックの精神や工夫を理解・体験させることをねらいとして、従来のプログラムにシッティングバレーボールや模擬聖火リレーの要素を取り入れた。

#### 【創意工夫した点】

①は、前半と後半に分け、座った状態と立った状態の両方を取り入れたこと、②は、聖火の代わりに赤色の玉を用いたことと、模擬トーチに東京2020マスコット「ミライトワ」と「ソメイティ」をあしらった「東京2020みんなのスポーツフェスティバル マーク」を貼り付けたことである。

#### 【取組結果や効果】

事前練習でもオリンピック・パラリンピック競技の紹介をしたことで、ルールを工夫するだけで障がいの有無に関わらずみんなが楽しめるようになる、ということを理解・体験する機会となった。また、東京2020大会への関心が高まったと感じる。

#### 【来年度以降の展開予定など】

今回の結果を踏まえ、来年度以降も、実施していく予定である。

## プログラムの様子



【シッティング玉入れ】  
前半は、半径4mの円上に籠を囲むように座り、中心の低い籠めがけて、上半身の力を使って玉を投げています。



【シッティング玉入れ】  
後半は、籠を高くし、児童は全身を使って玉を投げています。そして、前後半を合わせた玉数で勝敗を競います。



【FUTAKAMIオリンピック】  
「東京2020みんなのスポーツフェスティバル マーク」を貼り付けた模擬トーチの上に、聖火に見立てた赤色の玉を乗せています。



【FUTAKAMIオリンピック】  
片手で模擬トーチを持ち、聖火に見立てた赤色の玉が落ちないように、バランスを取りながら走っています。

## 日本障がい者スポーツ協会 日本パラリンピック委員会からのコメント

玉入れにパラリンピック競技の要素を取り入れ、前半と後半とで投げる姿勢を変えたという点に創意工夫が見られました。また、障がい物競走のなかに聖火リレーの要素を取り入れたことは非常に面白いと思いました。子どもたちが競技を楽しんでいる様子が目に浮かびます。是非、来年度以降も実施に期待しています。

## 受賞のコメント

国際パラリンピック委員会公認教材『I'mPOSSIBLE (アイムポッシブル)』や東京2020組織委員会公式ウェブサイトなども参考にし、東京2020大会への関心が高まるように、プログラムを考えました。